

令和 8 年用りんご病害虫防除基準

- 農薬を使用する際は、農薬の使用基準を遵守し、適正に使用してください。
- 農薬の使用基準は、農薬容器のラベルに記載されています。使用に際しては、ラベルをよく読んで確認してください。
- この基準は、令和 7 年10月 1 日現在の農薬登録内容に基づき作成しています。登録内容に変更が生じた時は、変更された内容に準じて使用してください。

散 布 期	適 用 病 害 虫	薬 剤 名 及 び 濃 度 (水100 ℓ 当 た り 薬 量)	収 穫 前 使 用 日 数	総 使 用 回 数	散布量	注 意 事 項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴		
黒 星 病	① 展 葉 初 期 (発 芽 10 日 後)	1. 水 (99 ℓ)			350 ℓ	1. ハダニ、越冬病害虫防除のため、マシン油乳剤の散布は必ず実施する。越冬ハダニの発生が多い場合は休眠期にハーベストオイル50倍（芽出し直前直後、－）を散布する。 2. モモチョッキゾウムシの多い園では、マブリック EW ㊟2,000倍（30日前まで、 2 回以内）を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ		
	ハ ダ ニ 類	2. ハーベストオイル 100倍（ 1 ℓ ）	展 葉 期 (発 芽 後 間 ま で)	－					
	黒 星 病	3. ベルコートフロアブル 2, 000倍（50mℓ）	前 日 まで	6 回 以 内					
	腐 ら ん 病 病 モ ニ リ ア 病	4. トップジンM水和剤 1, 000倍（100g）	前 日 まで	6 回 以 内					
	カイガラムシ類	5. アブロードフロアブル 1, 000倍（100mℓ）	30 日 前 ま で	2 回 以 内					
病 害 防 除	〔特 別〕	黒 星 病	1. ストライド顆粒水和剤 1, 500倍（66g）	開 花 前 で	2 回 以 内	350 ℓ	1. ストライド顆粒水和剤に替えて、 I C ボルドー 412 30倍（－、－）を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ	
	② 開 花 直 前	褐 斑 点 落 葉 病 病 黒 点 病 病 黒 星 ア 病 病 モ ニ リ こ 病 病 赤 星 病 病 ハ マ キ ム シ 類 ケ ム シ	1. トレノックスフロアブル 500倍（200mℓ）	30 日 前 ま で	5 回 以 内	400 ℓ	1. 摘花剤としてエコルーキー100～150倍（満開日、追加散布を要する場合は2～3日後に1回、2回以内）を単用で使用できる。 2. シンクイムシ類の多い園地では、4月下旬にコンピューザー N を150～200本／10 a 設置する。 （下記「交信かく乱剤」参照）	散布日 月 日 散布量 ℓ	
		2. カナメフロアブル㊟ 4, 000倍（25mℓ）	前 日 まで	3 回 以 内					
		3. サムコフロアブル10 5, 000倍（20mℓ）	前 日 まで	3 回 以 内					
	重 点 防 除	③ 落 花 直 後	黒 黒 星 点 斑 病 病 黒 点 斑 病 病 う ど ん こ 病 病 斑 点 落 葉 病 病 黒 星 病 病 ア ブ ラ ム シ 類 リ ン ゴ ワ タ ム シ	1. トレノックスフロアブル 500倍（200mℓ）	30 日 前 ま で	5 回 以 内	500 ℓ	1. クレフノンに替えて、バイカルティ1,000倍を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ミギワ20フロアブル 4, 000倍（25mℓ）	前 日 まで	3 回 以 内					
		3. ウララ D F 2, 000倍（50g）	14 日 前 ま で	2 回 以 内					
		4. クレフノン 100倍（ 1 kg ）							
防 除		④ 落 花 10 日 後	斑 点 落 葉 病 病 炭 褐 斑 紋 星 点 病 病 黒 星 点 病 病 う ど ん こ 病 病 モ ニ リ ア 病 病 斑 点 落 葉 病 病	1. デランフロアブル㊟ 2, 000倍（50mℓ）	60 日 前 ま で	3 回 以 内	600 ℓ	1. キンモンホソガ発生園ではエクシレル S E 5,000 倍（前日まで、 3 回以内）を加用する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. スコア顆粒水和剤 3, 000倍（33g）	14 日 前 ま で	3 回 以 内					
		3. クレフノン 100倍（ 1 kg ）							
	除	⑤ 落 花 20 日 後	黒 黒 星 点 斑 病 病 褐 斑 病 病 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 リンゴワタムシ	1. ペンコゼブ水和剤 500倍（200g）	30 日 前 ま で	3 回 以 内	600 ℓ	1. この時期、毛ぶるい期に入り、サビが最も出やすくなるので、乾きやすい時間帯に散布する。 2. クレフノンに替えて、バイカルティ1,000倍を使用してもよい。 3. リンゴワタムシの発生している園地ではトランスフォームフロアブル1,000倍（前日まで、3回以内）を散布する。 4. 斑点落葉病・赤衣病・褐斑病の多い品種では、ポリオキシシン A L 水和剤1,000倍（ 3 日前まで、 3 回以内）を加用して散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
			2. ダントツ水溶剤 2, 000倍（50g）	前 日 まで	3 回 以 内				
		3. クレフノン 100倍（ 1 kg ）							
6 月 10 日 頃		黒 黒 星 点 斑 病 病 褐 斑 病 病 赤 斑 紋 星 点 病 病 黒 星 点 病 病 アブラムシ類 キンモンホソガ シンクイムシ類	1. デランフロアブル㊟ 2, 000倍（50mℓ）	60 日 前 ま で	3 回 以 内	600 ℓ	1. ヒメボクトウの発生が多い園では、 6 月上旬にボクトウコンー H を100～150本／10a 設置する。なお、 3 年以上連続して使用することで効果が安定する。 2. 極早生品種のある園地ではデランフロアブルに替えて、トレノックスフロアブル500倍（30日前まで、 5 回以内）を散布してもよい。 3. デランフロアブルに替えて、パスポート顆粒水和剤1,000倍（45日前まで、 3 回以内）を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ	
		2. パレード15フロアブル 2, 000倍（50mℓ）	前 日 まで	2 回 以 内					
		3. アグロスリン水和剤㊟ 1, 000倍（100g）	前 日 まで	2 回 以 内					
		4. バイカルティ 1, 000倍（100g）							
7 月 20 日 頃		斑 点 落 葉 病 病 褐 斑 紋 星 点 病 病 黒 星 点 病 病 キンモンハモグリガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類 ハマキムシ類	1. アントラコール顆粒水和剤 500倍（200g）	45 日 前 ま で	4 回 以 内	600 ℓ	1. 殺ダニ剤を使用する場合は、 4 日前までに草刈りを終了する。 2. ダニオーテフロアブルに替えて、カネマイトフロアブル1,000倍（ 7 日前まで、 1 回）を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ	
		2. エクシレル S E 5, 000倍（20mℓ）	前 日 まで	3 回 以 内					
		3. ダニオーテフロアブル 2, 000倍（50mℓ）	前 日 まで	1 回					
		4. バイカルティ 1, 000倍（100g）							

耕種的防除

全 般	1. 適切な肥培管理等により、樹勢を健全に保つ。 2. 園地の角など薬剤が到達しにくい部分や混み合っている部分の枝はせん除し、薬液が隅々まで到達しやすいようにする。 3. 病害虫は樹上の粗皮や芽の付近に越冬するものが多いので、効率防除を図るため、休眠期防除前に粗皮削りを行なう。
炭 紋 病	1. 園地周辺のニセアカシヤやクルミ等は、伝染源になるので除去する。 2. 樹勢が弱いと発生しやすいので、樹勢の維持に努める。 3. 休眠期にいぼ皮病斑を削り取り、削り取った病患部は適切に処理する。
黒 星 病	1. 発病した葉や果実は、見つけしだい摘み取り、適切に処分する。
ナシマルカイガラムシ	1. 園地周辺の雑木は、寄種（伝染源）になるので除去する。

りんご施肥基準（成木：10a 当り）

品種・目標収量	肥料名	施肥量(kg)	施肥時期	N	P	K
つがる (3,600kg)	フレッシュフルーツ有機80	60～80kg	9月下旬	3.6～4.8	1.8～2.4	1.2～1.6
ふ じ (3,600kg)	フレッシュフルーツ有機80	40～80kg	10月上中旬	2.4～4.8	1.2～2.4	0.8～1.6

- ㊟印は劇物です。購入の際は印章をご持参下さい。

散布時期	適用病害虫	薬剤名及び濃度 (水100ℓ当たり薬量)	収穫前 使用日数	総使用 回数	散布量	注 意 事 項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴																																										
⑧ 7月 上旬		1. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍 (100mℓ)	—	—	600ℓ	1. バイカルティはリン酸の含まれる葉面散布剤とは混用しない。 2. 斑点落葉病、褐斑病が多い園では I C ボルドー412 30倍(ー、ー)を使用してもよい。 I C ボルドー412には展着剤は使用せず、単用で散布する。 3. シンクイムシの多い園では、7月上旬にナシヒメコン50本/10aを追加設置する。 4. ヒメボクトウの被害がみられる園では、7月上旬頃フェニックスフロアブル4,000倍(前日まで、2回以内)を枝幹部に十分かかるようにねいに散布する。また、ロビンフッド(前日まで、5回以内)を樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射する。	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										
	斑点落葉病 すす点病 すす斑病 炭紋病 そ病	2. ナリアWDG 2,000倍 (50g)	前日まで	3回以内																																													
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 リンゴワタムシ	3. ダントツ水溶剤 2,000倍 (50g)	前日まで	3回以内																																													
		4. バイカルティ 1,000倍 (100g)																																															
⑨ 7月 中旬		1. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍 (100mℓ)	—	—	600ℓ	1. バイカルティはリン酸の含まれる葉面散布剤とは混用しない。 2. 斑点落葉病・輪紋病が多い園では I C ボルドー412 30倍(ー、ー)を使用してもよい。 I C ボルドー412には展着剤は使用せず、単用で散布する。 3. 褐斑病防除のため防除間隔を10日以上空けない。	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										
	斑点落葉病 すす点病 すす斑病 炭紋病 そ病	2. ドキリンフロアブル 800倍 (125mℓ)	14日前 ま で	4回以内																																													
	褐斑病	3. ユニックス顆粒水和剤47 2,000倍 (50g)	14日前 ま で	4回以内																																													
	シンクイムシ類 ハマキムシ類	4. オリオン水和剤40 1,000倍 (100g)	前日まで	2回以内																																													
		5. バイカルティ 1,000倍 (100g)																																															
品 種 ご と の 収 穫 開 始 時 期 を 考 慮 し、 各 薬 剤 の 収 穫 前 使 用 日 数 を 厳 守 す る。																																																	
⑩ 7月 下旬		1. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍 (100mℓ)	—	—	600ℓ	1. ビターピット対策として、ストピットⅡ500倍を加用してもよい。 2. カメムシ類対策としてモスピラン顆粒水溶剤に替えて、スタークル顆粒水溶剤2,000倍(前日まで、3回以内)を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										
	斑点落葉病 すす点病 すす斑病 炭紋病	2. オキシラン水和剤 700倍 (142g)	14日前 ま で	4回以内																																													
	キンモンホソガ ン モ ハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 リンゴワタムシ	3. モスピラン顆粒水溶剤㉔ 2,000倍 (50g)	前日まで	3回以内																																													
	褐斑病	4. オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50mℓ)	7日前 ま で	3回以内																																													
㊦ 特 別 一		1. 展着剤(アビオンーE) 1,000倍 (100mℓ)	—	—	600ℓ	1. 降雨が続く場合は散布する。 <div>高温・乾燥が続く場合、日やけ軽減・果点荒れ対策を目的にサンバリア1,000倍を加用してもよい。</div>	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										
	斑点落葉病 すす点病 すす斑病 炭紋病 褐斑病 そ病	2. ドキリンフロアブル 800倍 (125mℓ)	14日前 ま で	4回以内																																													
⑪ 8月 上旬	斑褐すす炭 点すす 落斑 葉点 病病 病病 病病	1. ダイパワー水和剤 1,000倍 (100g)	前日まで	開花期 以降 3回以内	600ℓ	1. ハダニの発生が多い園では、下記の殺ダニ剤のいずれかを総使用回数に注意して単用で散布する。 <table><tr><th>薬 剤 名</th><th>希釈倍率</th><th>収 穫 前 使用日数</th><th>総使用 回数</th><th colspan="2">使用時期</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th>7月</th><th>8月</th></tr><tr><td>マイトコーネフロアブル</td><td>1,000倍</td><td>前日まで</td><td>1回</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>ダニコングフロアブル</td><td>2,000倍</td><td>前日まで</td><td>1回</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>ダニゲッターフロアブル</td><td>2,000倍</td><td>前日まで</td><td>1回</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>オマイト水和剤</td><td>750倍</td><td>3日前まで</td><td>1回</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td></td><td>3,000倍</td><td>前日まで</td><td>—</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>	薬 剤 名	希釈倍率	収 穫 前 使用日数	総使用 回数	使用時期						7月	8月	マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日まで	1回	○		ダニコングフロアブル	2,000倍	前日まで	1回	○		ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日まで	1回		○	オマイト水和剤	750倍	3日前まで	1回		○		3,000倍	前日まで	—	○	○	散布日 月 日 散布量 ℓ
	薬 剤 名	希釈倍率	収 穫 前 使用日数	総使用 回数			使用時期																																										
							7月	8月																																									
マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日まで	1回	○																																													
ダニコングフロアブル	2,000倍	前日まで	1回	○																																													
ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日まで	1回		○																																												
オマイト水和剤	750倍	3日前まで	1回		○																																												
	3,000倍	前日まで	—	○	○																																												
シンクイムシ類 ケムシ類	2. テッパン液剤 2,000倍 (50mℓ)	前日まで	2回以内																																														
ハダニ類	3. コロマイト乳剤 1,000倍 (100mℓ)	前日まで	1回																																														
⑫ 8月 中旬	すす斑病 すす点病 斑落葉病 褐斑病 輪紋病 黒星点病	1. ナリアWDG 2,000倍 (50g)	前日まで	3回以内	600ℓ	2. りんごの落果防止剤として、ヒオモン水溶剤を使用できる。	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										
	シンクイムシ類 キンモンホソガ	2. アグロスリン水和剤㉔ 1,000倍 (100g)	前日まで	2回以内																																													
⑬ 98月 上下旬	斑褐すす炭 点すす 落斑 葉点 病病 病病	1. ベルクートフロアブル 1,000倍 (100mℓ)	前日まで	開花期 以降 3回以内	600ℓ	1. シンクイムシ類対策としてヨーバルフロアブル10,000倍(前日まで、2回以内)を加用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										
	キンモンホソガ シンクイムシ類	2. バリアード顆粒水和剤㉔ 2,000倍 (50g)	前日まで	3回以内																																													
⑭ 9月 中旬	すす斑病 すす点病 斑落葉病 褐斑病 輪紋病	1. ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g)	前日まで	3回以内	600ℓ	1. ファンタジスタ顆粒水和剤に替えてフrintフロアブル25 2,000倍(前日まで、4回以内)を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										
	シンクイムシ類 カメムシ類	2. スカウトフロアブル㉔ 2,000倍 (50mℓ)	前日まで	5回以内																																													
㊦ 9月 下 別 旬	褐炭すす黒 斑すす そ点 病病 病病	1. ストライド顆粒水和剤 1,500倍 (66g)	開花期 ～前日まで	3回以内	600ℓ	1. 高温時の散布は葉害の危険があるので、気温の低い時に散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ																																										

落果防止剤の使用について

落果防止剤	使用時期	注意事項
ヒオモン水溶剤 2,000倍 2回以内	収穫開始予定 21～4日前	単用で散布する。

交信かく乱剤（シンクイムシ・ヒメボクトウ対策）

対象病害虫	薬剤名	使 用 方 法
モモシンクイガ ナシヒメシンクイ ハマキムシ類	コンフューザー N	4月下旬にコンフューザー Nを150～200本／10a設置し、7月上旬にナシヒメコン 50 本／10aを追加設置する。
ナシヒメシンクイ	ナシヒメコン	
ヒメボクトウ	ボクトウコンー H	6月上旬に100～150本／10a設置する。なお、3年以上連続して使用することで効果が安定する。

1. 設置場所は、目通りの高さに8割、2割を上部に、園地内均一に設置する。

2. 傾斜上部の設置割合を1～2割多とする。

3. 園周辺の立木や、支柱などにも設置する。

4. 防風ネットなどを利用する。

5. 高温時は成分の揮発が早いので、必要に応じて追加設置する。